

本号では二つの特集を取り上げました。一つは透析患者のADLとQOLの評価法と対策について、もう一つは社会的な脅威になっている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）についてですが、両者は密接に関連しています。

現在、COVID-19による外出自粛により、高齢者は「生活不活発」となりやすく、フレイルの発症・進行が懸念されています。実際、フレイルの有無にかかわらず、日本人地域居住高齢者ではCOVID-19の流行前と比較すると、一日の活動時間が約30%減っていました。また、買い物を控えることで食事内容が偏り、栄養バランスが悪化します。さらに、感染予防のために透析施設から食事が提供されなくなると、透析日の食事摂取量が減り、結果的に栄養障害のリスクが高まります。

栄養障害はCOVID-19に対する免疫力を低下させ、感染症の重症化を招くリスクがあります。

本年8月14日午前8時の時点で、全国の透析患者におけるCOVID-19感染者数は累計で189名となりました。8月7日からの1週間で見ると、新規患者数が29名と急速に増えていることから、今後も感染者数は増えることが予測されます。

これからも“with コロナ”の時代は続くものと予想されます。新型コロナ禍の下、動かないことによって発症するフレイルを早く見つけて予防するため、今回の特集で取り上げたADLおよびQOLの評価法を利用していただき、透析施設でのフレイル対策にお役立ていただければ幸いです。

(加藤 明彦)

2020年(Vol. 36)特集のご案内

- No.① 透析患者の感覚器障害
- No.② 透析液・透析関連排水の諸問題
- No.③ 腎代替療法と Shared Decision Making
- No.④ 世間の荒波にもまれる CKD-MBD 治療
- No.⑤ 近未来の透析医療
- No.⑥ 透析患者の脳血管障害
- No.⑦ 透析患者 PAD の最前線
- No.⑧ パスキュラアセス
ートラブルを少なくするために
- No.⑨ 血液浄化機器 2020 [増刊号]

- No.⑩ 透析患者における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）
・透析患者のADLとQOL
ーその評価法と対策
- No.11 高齢透析患者の療養生活支援
ーその現状と課題
- No.12 慢性腎臓病・透析患者の酸化ストレス
ー最新知見と治療展開

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.36 No.10

© 2020 年 9 月 10 日発行
本号特価：(本体 2,800 円＋税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541